

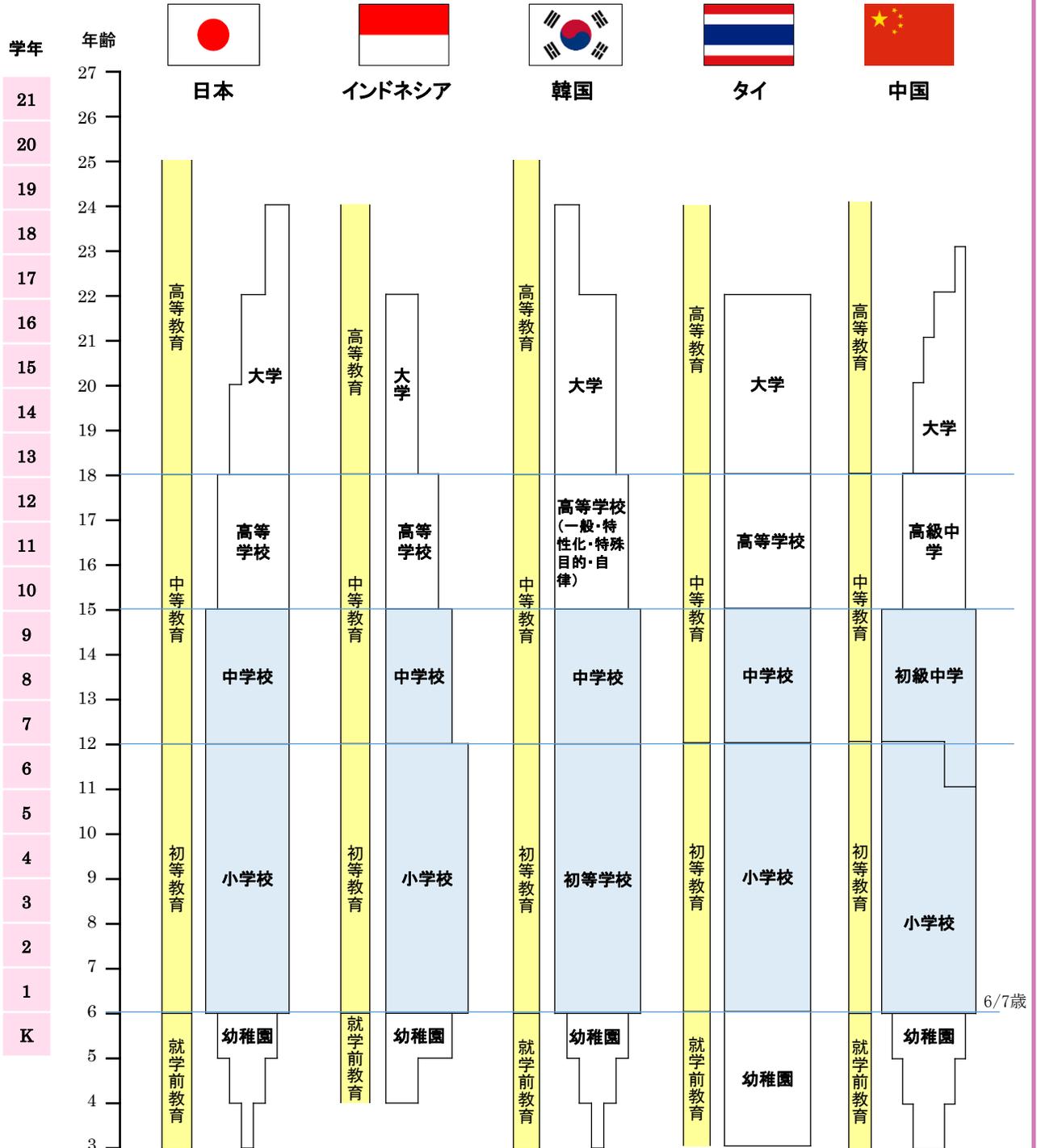


第5章

各国の情報

各国の学校系統図

国によって学校制度、学校生活など様々な違いがあります。外国人の保護者や子どもと接する時に、母国の情報を知っておくことはコミュニケーションを円滑にする重要な要素です。この章では、各国の制度や学校生活を紹介しています。



特別支援学校、高等学校(定時制・通信制)、大学、専修学校等あり。

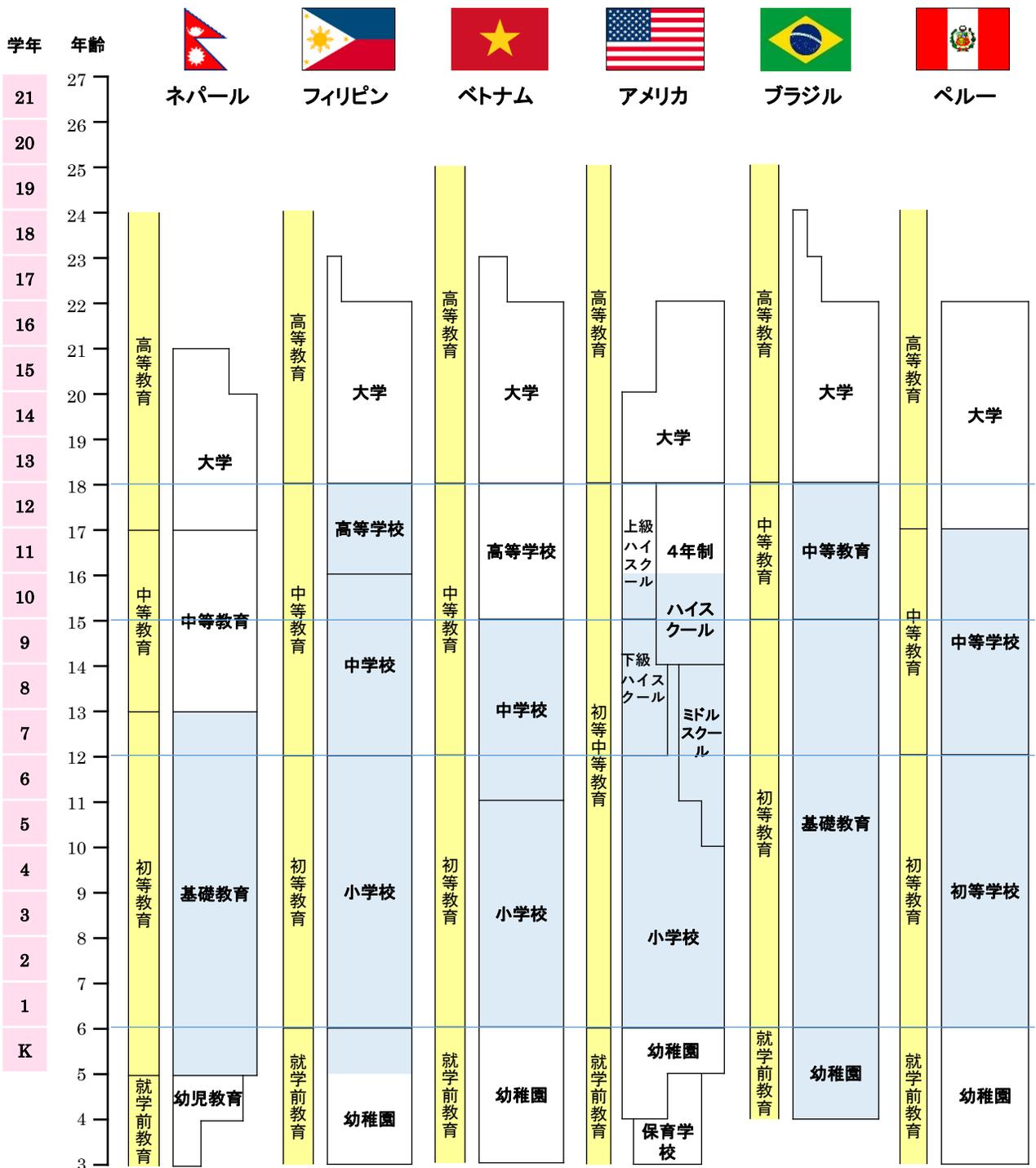
初等・中等教育文化省管轄の学校と、宗教省管轄のイスラム系学校がある。高校は、普通高校、職業高校、宗教高校がある。高校後、専門学校あり。

地域により小学校入学が6歳、7歳と異なる。7歳入学の在学年齢は6歳入学よりも1歳ずつ上げる。中学卒業後、専門学校や職業中学の選択肢あり。職業技術学院あり。

この項では、各国の学校系統図を紹介します。一般的な課程を掲載しており、地域や設置主体により異なることもあります。義務教育期間を青色で表示しています。

また、大学院は記載していません。

なお、就学開始年齢が6歳でない場合、学年が表示の目盛と異なります。



宗教学校、オルタナティブスクールあり。
※基礎教育が5歳からのため、表示の学年と異なる。

職業訓練校あり。

※州により異なる。

法的には幼稚園も義務教育。

各国の教育制度比較表

① 各国の教育制度概要

項目	国名	アジア			
	日本	インドネシア	韓国	タイ	中国
学校制度	 6-3-3-4	 6-3-3-4	 6-3-3-4	 6-3-3-4	 6-3-3-4 (一部地域では5-4-3-4)
義務教育期間	9年間	9年間	9年間	9年間	9年間
	小学校6年 中学校3年	小学校6年 中学校3年	初等学校6年 中学校3年	小学校6年 中学校3年	小学校6年 (一部地域は5年) 初級中学3年 (一部地域は4年) 一部の地域は12年(内モンゴル自治区、陝西省等)
義務教育以降 (大学まで) ※専門学校等除く	高等学校3年 短期大学2年 大学4年	高等学校3年 大学4年	高等学校3年 大学4年	高等学校3年 大学4年	高級中学3年 大学4年
就学前の教育	幼稚園／3～5歳	PAUD 保育園／2～3歳 TK-A 幼稚園年少／4～5歳 TK-B 幼稚園年長／5～6歳	幼稚園／3～5歳	幼稚園／3～5歳	幼稚園／3～5歳 保育と教育の結合を原則としている。(保育所は0歳から3歳未満の子どものみ対象としている。)
年度／ 就学年齢基準日	4月～翌年3月 4月1日までに満6歳になる子どもが就学。	年度は7月頃～翌年6月頃	3月～翌年2月 1月1日～12月31日までに満6歳になる日の翌年3月に就学。但し、満5歳や7歳の入学も可能。	5月～翌年3月 5月1日～30日に満6歳になる子は、同年に入学。	9月～翌年7月 8月31日までに満6歳になる子どもは小学に就学。(満7歳の地域もある。)
学期／月	3学期制／2学期制	2学期制	2学期制	2学期制	2学期制
	1学期: 4月～7月 2学期: 9月～12月 3学期: 1月～3月 1学期: 4月～10月頃 2学期: 10月頃～3月	1学期: 7月～12月 2学期: 1月～6月	1学期: 3月～7月 2学期: 8月下旬～2月末日	前期: 5月～10月 後期: 11月～3月	1学期: 9月1日～1月中旬 2学期: 2月中旬～7月中旬
学校の休み	土日祝 夏休み・冬休み・春休み(地域により期間が異なる。)	日祝(土曜休みの学校あり。) 学期末に長期の休みがある。 ラマダン明けに1～2週間程度の休み	夏休み(7～8月の間の約4週間) 冬休み(12～1月の間の約4週間) 春休み(2月の間の約2週間)	土日祝 11月(約2週間) 3月～5月(約1か月半)	土日祝 夏休み(7～8月の間の約7週間) 春節休み(1～2月の間の約4週間)
特別な配慮が必要な子どもへの対応	・通級指導(各教科の授業は通常の学級で行い、状態に応じた指導を特別な場で行う) ・小中学校の特別支援学級 ・特別支援学校	障害種別により特別な学校がある。 SLB (Sekolah Luar Biasa)	・特殊教育学校等 ・通常学校の特殊学級および通常の学級 ・自治体教育庁の特殊教育支援センター ・巡回教育および院内学級	・一般学校でインクルーシブ教育 ・視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由者の障害者学校あり。	視覚障害、聴覚障害、知的障害等の障害者学校あり。 全国2345箇所。
行政	都道府県や市町村の教育委員会	初等・中等教育文化省	・教育部 ・各自治体の教育庁	教育省	国务院教育部、地方の省・自治区・直轄市、県・市(区)の教育委員会(教育庁または教育局)。

各国の教育に関する制度や学校の生活を項目別にまとめ、紹介します。基本的に公立義務教育の主な情報
を載せていますが、州や地域、私立の学校等、掲載情報と異なる場合がありますので、必要に応じて本国の当
該窓口で確認してください(→P.77)。

アジア			北米	南米	
ネパール	フィリピン	ベトナム	アメリカ	ブラジル	ペルー
					
8-4-3~4	1-6-4-2	5-4-3-4(または5)	6-3-3、5-3-4、6-2-4、 6-6など (州・地域等により異なる)	2-9-3-4~5	2-6-5-5
8年間	13年間	9年間	州により異なる。	14年間	13年間
基礎教育8年	幼稚園1年 小学校6年 中学校4年 高等学校2年	小学校5年 中学校4年	州により異なる。 (例:イリノイ州6~17歳、カリフォルニア州6~18歳、ニューメキシコ州5~18歳。ほとんどの公立小学校は入学前1年間の就学前クラスを有し、多くの児童がそこから就学している。)	幼児教育2年 基礎教育9年(日本の小学校・中学校に相当) 中等教育3年(日本の高等学校に相当) (幼稚園を卒業していなくても小学校には入学できる。)	幼児教育2年 初等学校6年(日本の小学校に相当) 中等学校5年 (幼稚園を卒業していなくても小学校には入学できる。)
中等教育4年 大学 3~4年	大学	高等学校3年 大学4~5年	2年制大学(コミュニティカレッジ) 4年制大学(総合大学/リベラルアーツカレッジ/専門大学)	大学4~5年	大学5年 (学部により違いがある)
1~2年(3~4歳)の幼児教育があるが、地域による。	幼稚園3~5歳 (公立幼稚園は小学校と併設されている。)	小学校以前の教育は義務ではない。3歳で入園するベトナム人向け幼稚園は3年間の教育課程。	幼稚園のほか保育学校等で行われ、通常3~5歳児を対象とする。	幼児教育として0~3歳は保育園、4~5歳はプレスクール(幼稚園)	幼稚園3~5歳。
4月中旬~翌年3月 3月中旬までに満5歳になれば就学。	6月~翌年3月	9月~5月 当該年の12月までに満6歳になる者は、その年の学校年度開始日(9月)に就学。	州や学校により異なる。 (ワシントン州の標準的な例:年度は9月1日~8月31日。その年の8月31日までに満6歳になる者は、同年の9月に小学校1年生となる。)	2月~12月中旬	3月~12月 3月31日に満3歳になる子どもは、就学前教育に就学。
学期制なし。	2学期制	2学期制	全国共通制度はない。	3学期または4学期制	4学期制
ない	1学期: 6月~10月 2学期: 11月~3月	1学期: 9月~1月 2学期: 1月~5月 (地域による)	州や学校により異なる。 ※代表的なもの: 2学期制: ①8月~12月、 ②1月~5月 3学期制: ①9月~12月、 ②1月~3月、③4月~5月 4学期制: ①9月~12月、 ②1月~3月、③3月~6月 ④6月~8月	1学期: 2月 ~ 4月中旬 2学期: 4月中旬 ~7月上旬 3学期: 7月下旬 ~9月下旬 4学期: 10月上旬 ~12月中旬	1学期: 3月上旬 ~5月中旬 2学期: 5月中旬 ~7月下旬 3学期: 8月上旬 ~10月中旬 4学期: 10月中旬 ~12月下旬
土曜日 60日程度の休暇の時期を学校が決定する。多くは夏期休暇となるが、山間部は冬期休暇が多い。	夏休み 4月、5月の約2か月間。 1学期から2学期の区切りに約2週間。 フィリピンでは4月、5月がもっとも暑い。	日曜日 土曜日(学校による) テト(旧正月)1月~2月 夏休み6月~8月	州によって異なる。 夏休み(6~8月頃)、 冬休み(12月末頃)、 春休み(3月末)など。	土、日、祝日 冬休み(7月) 夏休み(12月中旬~1月下旬)	冬休み(7月頃) 夏休み(12月下旬~2月)
特殊学級、特別支援学校あり(視覚障害児、聴覚障害児、知的障害児)。	1997年から地域のすべての学校でSped(特殊教育)プログラムが義務化されている。	・インクルーシブ教育 ・特別支援学校(精神障害児、聴覚障害児、視覚障害児) ・準インクルーシブ教育	IDEA(個別障害者教育法)により学校は個々の児童生徒に適切な支援を無料で提供することが義務付けられている。	通常級で、レベルや成長段階に応じた教育支援を受けながら学習する。加配教員対応あり。知的障害、肢体不自由、聴覚障害の特別支援学校(州立、市立、私立)。	普通の学習を困難にする何らかの障害を持つ人が特別基礎教育の対象となる。個別対応をしながら通常の学級に含めることを目標とされる。
教育省 教育局、地域教育事務所、教育委員会。 初等・中等教育の管轄機関は郡教育事務所。	教育省	教育訓練省	州教育省の下に郡教育局、その下に学校区がある。	教育省、全国教育評議会、州教育省、州教育評議会、地域教育局、市教育委員、市教育局と市教育評議会。*	教育省、州教育局、地域教育部

※初等教育は市町村、(特に農村地域や市町村の能力が低い地域では州も参加)、中等教育は州。

②義務教育の学校の概要

※義務教育の概念は国によって異なります。

項目	国名	アジア			
		日本	インドネシア	韓国	タイ
授業時間					
授業の言語	日本語	インドネシア語	韓国語	タイ語	中国語 少数民族の言語
カリキュラムの特徴	【小学校】 国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語 外国語活動 【中学校】 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳、特別活動、総合的な学習の時間	【小学校】 国語、算数、理科、社会、体育、図工、宗教、地方語、市民教育 【中学校】 国語、算数、理科、社会、体育、図工、宗教、英語、保健体育、情報、環境、歴史、地方語、市民教育、その他の活動	【小学校】 各教科は日本とほぼ同様。その他「創意的体験活動」がある。 【中学校】 特徴：選択科目がある。漢文、環境、生活、外国語(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語、アラブ語、ベトナム語等)、保健、進路と職業からの選択、その他「創意的体験活動」がある。	【小学校】 「生活経験の強化」：タイ人として生きるために必要なことを学ぶ。「瞑想」：朝礼や午後の授業開始前に10～15分実施。「ボーイ&ガールスカウト」：自然や健康について学び、野外授業等奉仕活動を実施。「英語」：小学校から実施。	【小学校】 国語、算数、英語、体育、芸術、理科、図工、道徳、テクノロジー、総合的な実践活動など 【中学校】 国語、算数、外国語(英語、日本語、ロシア語等)、歴史、地理、化学、物理、生物、体育、芸術、図工、道徳、総合的な実践活動など
宗教対応	対応していない。	宗教の授業は、生徒が信仰する宗教に応じて行われる。イスラム系の小・中・高等学校もある。他の宗教の学校もある。	対応していない。	タイ国民の多くは仏教徒であるため、道徳の時間は僧侶が先生になることもある。	宗教は歴史の知識としてのみ取り扱う。
教育費	授業料、教科書代無償。教材費、給食費は徴収される。	公立の小学校・中学校は無償。行政の予算や各学校、保護者の経済状態で負担額が異なる。	授業料、教科書代は無料。給食費は地域や学校ごとに異なる。	授業料無償。教科書、教材費、給食費、その他必要経費が徴収される場合あり。	義務教育は農村部から段階的に無償化を進めており、2008年9月に全面無償化の方針が打ち出された。
留年	ない	小学校から高校までは各年の進級試験と最終年の卒業試験があり、これに合格しないと進級または卒業できず留年となる。	年間授業日数が2/3に満たない場合は留年になる。	ある	ある
飛び級、早期卒業、早期入学	ない	ある(特別)普通はない。	ある	ない	ある
外国人児童生徒への対応	加配教員、取り出し授業、プレスクール、プレクラス、拠点校(センター校)、母語教育支援。	言語特別指導は学校により異なる。	特別学級が設置されている学校もある。(多文化教育センター)	言語特別指導は一般的に実施していない。	外国人生徒を受け入れる資格を持っている学校がある。

アジア			北米	南米	
ネパール	フィリピン	ベトナム	アメリカ	ブラジル	ペルー
					
午前の授業、 昼食、 午後の授業	標準的には午前、午後 の2部制。 どちらのクラスに入るかは、 生徒の希望で指定する。 午前:6:00~12:20 午後:12:40~6:50 (土日には、働く学生と大人 を対象とした学習クラス がある)	午前組と午後組の登 校組に分かれ、同一 教室を2回使用する2 部制が多い。(教育施設 が不足しているため。) 全日制もあり。	州・地域・学校により異 なる。	午前、午後、夜間(高 校とEJA ^{※1} 。 2023年から連邦政府 は公立学校(幼児教育 小中学校)に全日制学 校プログラムを実施。 州、連邦直轄区、地方 自治体は任意。全日 制の私立学校もある。 小学校のための最低 日間授業時間は4時間、 中学校のための授業 時間は5時間。	午前のみ
ネパール語 英語	幼稚園から3年生ま では母語が使用される。 フィリピン語は、主に 社会科、フィリピン語 等で、英語は数学、 化学、技術等で使用 される。	ベトナム語	英語 (他の言語を話す教員・助 手を配置している州や学校 がある。ワシントン州では英 語以外のバイリンガル・イ マージョン教育も行われて いる。)	ポルトガル語	スペイン語 原住民の言語
【初等教育】 ネパール語、英語、 母語(地域言語)、サ ンスクリット語、算数、 理科、社会科、保健 体育、創造芸術、職 業前教育 【中等教育】 職業訓練が重視され る。	【幼稚園】 日本と同じ内容だが、 英語、母語、フィリピン 語等言語教育を重視。 【初等・中等教育】 母語、フィリピン語、英 語、数学、科学、社会、 保健教育、音楽、芸 術、体育、ヘルス (Health)、家庭・生活、 技術・生活(農業水産、 家庭経済、情報通信、工 業:中等教育のみ)。	【小学校】 ベトナム語、算数、道 徳、自然と社会(1,2,3 年生)、外国語(3年生 ~)、科学、歴史と地 理、情報と科学、美術 と音楽、体育、体験活 動 コンピュータ教育(3年 生~) 選択科目:外国語(1,2 年生)、民族言語	州や学校により異なる。 45州で外国語等の選 択科目から構成される システム「Common Core」を導入している。 ※ウェストバージニア州の 例: ＜小学校＞国語(英語)、 数学、科学、社会科、保健 体育、美術、音楽、図書メ ディア、21世紀技術 ＜中学校＞国語(英語)、 数学、科学、社会科、保健 体育、美術、音楽、外国語、 図書メディア、ベース8、21 世紀技術	【初等教育】 ポルトガル語、倫理、 環境と健康、文化多様 性、性教育 【中等教育】 ポルトガル語	【小学校】 国語、社会、算数、理科 芸術、体育、外国語(学 校により異なる)、宗教 (別の宗教の場合は選 択できる) 【中学校】 国語、社会、算数、生物 化学、経済、環境、芸術 体育、英語、自己啓発、 職業教育(情報、商業)、 宗教(別の宗教の場合 は選択できる)
様々な民族、カースト、 宗教、言語、文化や 地域の理解促進が組 み込まれている。	国民の約90%がキリ スト教のため、道徳な どを通じて宗教教育 が重視されている。	不明	「宗教の自由」の立場 から、個々の宗教に対 応していない。	私立学校では対応し ている場合あり。	初中等教育ではキリス ト教について学ぶ科目 がある。
授業料:8年生まで無 償、9~10年生の女性 とダリット ^{※2} は無料。そ の他:10年生まで教 科書無料。	授業料は無料。	有料 (授業料減免制度等 あり)	一般的に公立では授業 料の徴収はない。その 他の費用は州や学校に より異なる。	国立・公立の場合は無 償。	公立学校の場合は無 償。
ある	ある	ある	ある	あるが、読み書きが未 達成な初等教育前期4 年までは、学力評価に よる落第禁止。	就学前教育および初 等教育の1年目にはな いが、2年目以降の初 等教育および中等教 育にはある。
ある	ある	ある	ある	ない	進級可能
ある	外国人がフィリピンの 基礎教育を受けるこ とは可能であるが、公 立学校ではなく、私立 学校に限られる。 外国人が私立学校へ の入学・編入学を希 望する場合には、希 望する当該私立学校 と直接手続きを行う。	不明	州により異なる。 ※イリノイ州:英語を母国語 としない生徒が一定数を超 えたと、これらの生徒を対 象にESLやELDと呼ばれる英 語を学ぶための特別なク ラスが開設される。ワシ ントン州:公立学校は英 語が第一言語でない生 徒に言語特別指導を行 うことを法律で義務づ けている。指導方法は 学校により異なる。	公立・私立とも各学 校で対応している。	不明

※1 EJA:若年者および成人のための教育、通常の年齢で学ばなかった人々の教育

※2 ダリット:ヒンドゥー教にまつわるカースト制度において差別されてきた人々のこと

③ 学校生活

国名 項目	日本	アジア			
		インドネシア 	韓国 	タイ 	中国 
昼食	小学校は給食。中学校は地域により弁当、給食のところがある。	給食はない。学校内外の売店で購入する。まれにランチを持ってくるか、家で食べる。	給食あり。各市道により無償の場合がある。	給食あり。弁当のところもある。軽食やお菓子の売店もある。	一部では、給食あり。
登校の仕方	小学校は集団登校。中学校は個別登校。	個別登校。(徒歩、バス等の交通機関、家族・お手伝いさん・運転手等による車やバイク等での送迎あり。)	個別登校	個別登校(徒歩、バス、家族による車やバイクでの送迎。)	徒歩、バス、自家用車、スクールバスが利用されている。
行事	入学式、保護者懇談会、運動会、遠足、キャンプ、修学旅行、文化祭、卒業式	入学式、遠足、修学旅行、Class Meeting、卒業式、先生の日など。 ※参観日はないが、先生と懇談する日がある。	入学式、保護者懇談会、運動会、遠足、修学旅行、文化祭、卒業式	授業参観(年2回程度)運動会、キャンプ、修学旅行	入学式、卒業式、運動会、修学旅行など。
クラブ活動	ある	ある	ある	ある	ある
保護者会・PTA	ある	ある ※先生と保護者は別の組織を作っている。	ある	ない	ある
掃除	子どもたちが行う。	清掃員が行う。子どもたちはクラスだけ行う。	学校による。 (例:ソウル市の小・中・高1,277の学校中約60%(772校)が掃除会社を利用している。2015年1月ソウル市教育庁調べ。)	子どもたちが下校前に行う。	子どもたちが行う。
制服	小学校:私立は制服、公立は私服が多い。中学校・高校は制服が多い。	ある (小学校は赤と白、中学校は青と白、高等学校はグレーと白。)	小学校:私立は制服、公立は私服。中学・高校は制服が多い。	ある (白いYシャツ・ブラウス、紺系ズボン・スカート。)	学校が定めた制服と運動服があり、生徒たちは学校にいる間、ほぼ運動服を着て活動する。
初等教育 修了率*1 (男/女)%	—	96/98	—	98/99	97/97
前期中等教育 修了率*2(男/女)%	—	86/90	—	81/92	93/93

*1 初等教育修了率

初等教育の最終学年で想定される年齢よりも3～5歳年齢が高く、初等学校の最終学年を修了した子どもまたは若者の数。—はデータなし。

*2 前期中等教育修了率

前期中等教育の最終学年で想定される年齢よりも3～5歳年齢が高く、前期中等教育の最終学年を修了した子どもまたは若者の数。—はデータなし。いずれの修了率についても2013年～2022年の期間内に入手できた最も新しい年次のデータ。ペルーのみ異なる年のデータ。—はデータなし。

<ユニセフ「世界子供白書2023」データ統計 教育指標 修了率(初等教育、前期中等教育)より>

④ その他

根拠法	学校教育法	国家教育制度法、教育省国家教育基準法	初・中等教育法	国家教育法	憲法、教育法、義務教育法、高等教育法、教員法等
-----	-------	--------------------	---------	-------	-------------------------

アジア			北米	南米	
ネパール	フィリピン	ベトナム	アメリカ	ブラジル	ペルー
					
給食はない。弁当か帰宅して昼食をとる。	栄養不足の者を優先し、無料の昼食がある。	二部制の学校は給食なし。全日制の学校は食堂を利用。家で食べる場合もある。地域や学校による。	州・学校により異なる。弁当、給食、学校のカフェテリアなど。	午前の部・夜間は、給食あり。おやつがある学校もある。おやつや軽食を持参して休憩時間に食べたり、学校内に売店が併設されている場合もある。	就学前教育、初等教育においては栄養プログラムが義務付けられている。学校内に売店があり、お菓子や時に軽食を購入することができる。公立では朝食がある。
地域により異なる。村落部は数時間の徒歩もある。私立はスクールバスがある。	地域により異なる。個別登校、親の送迎もあり。	地域により異なる。自転車通学、集団登校、親がバイクで送迎、スクールバスで通うこともある。	小中学校はスクールバス、保護者の送迎などが多い。その他、徒歩や公共交通機関の利用もある。	公立学校のスクールバスは、ほとんどの場合、市町村や州政府の責任において行う。私立学校への通学は通常、学校が手配するものではなく、家庭の責任となる。	日本のような集団登校がない。
運動会	運動会、学園祭	入学式、先生の日(11月20日)、卒業式運動会、学校祭、遠足など。学校による。	小中学校では入学式・卒業式がない。高校では卒業式が行われる。	遠足、フェスタ・ジュニーナ(6月の祭り)、フェイラ・デ・シエンシア(科学発表会)、卒業式等。	公立、私立で行事は異なる。
ある	ある (よい学習機会との理由で促進されている)	あるが、学校による	季節ごとに活動種目が異なる。	公立ではないが、私立では行われているところもある。	公立ではない。
ある	ある	ある	保護者会(PTA)があり、学校運営にボランティアとして協力する。	ある	保護者会(APAFA)がある。
ある	当番制で子どもたちが行う。	学校による。教室周辺は子どもたちが掃除。その他の場所は清掃員が行うなど。	清掃員が行う。	清掃員(通常、外部委託企業)が行う。	清掃員が行う。
ある	ない (私立のみある。)	ある (ただし、学校による。白いシャツ、黒いパンツなど。)	ない (私立の一部はある。)	初等・中等教育ともにあり。(Tシャツだけという簡易な制服が多い。)	初等・中等教育ともにある。
81/83	89/95	96/97	—	95/97	95/95
71/75	75/88	81/87	—	81/89	83/83

教育法	教育法	教育法	各州の州憲法および教育法(または学校法)。	ブラジル教育基本法第9394-96号 国家教育計画	憲法、総合教育法、大学法、教職改革法、保護者団体の公立学校への参加を定める法律など。
-----	-----	-----	-----------------------	------------------------------	--

愛知県で増えている外国人の国の状況

愛知県に住む外国人数が近年増えている国の状況です。

項目 \ 国名	アジア			中東
	スリランカ 	パキスタン 	ミャンマー 	トルコ 
学校制度	5-4-2-3~4	5-3-2-2-4	5-4-3-3~6	4-4-4-4
義務教育期間	11年間	10年間	5年間	12年間
	小学校5年 中学校4年 高等学校2年	初等学校5年 下級中等学校3年 中等学校(高校)2年	初等学校5年	初等教育機関: 8年(初等学校4年と 前期中等学校4年で 構成される。) 後期中等教育機関: 4年(後期中等学校4 年)
義務教育以降 (大学まで)	大学3~4年	上級中等学校2年 大学4年	中学校4年 高等学校3年 大学3~6年	高等教育機関:2~6 年 大学4年 (総合大学、単科大学、 インスティテュート、カ レッジ、音楽学校、専 門学校、実践研究セ ンター)
就学前の教育	幼稚園/3~4歳	幼稚園/3~4歳	幼児保育(ECCD)/ 幼稚園 3~5歳(3年)	独立した幼稚園、児 童発達・教育分野を 持つ技術・職業中等 教育機関の実習クラ ス、その他の教育機 関の保育クラス/3 ~5歳
年度/ 就学年齢	1月~12月 5歳	4月~翌年3月 5歳	6歳	9月~翌年6月 6歳
学期	3学期制	3学期制	前期: 12月~3月 (4か月) 後期: 6月~9月 (4か月)	前期: 9月~1月末 後期: 1月~6月
学校の休み	土日祝 8月、12月に1か月程 度の休み	土日祝 夏休み(約2か月) 冬休み(1~2か月)	4月~5月	祝日、公的・宗教的休 日、11月の第1学期中 間休暇(7日間)、1月 の学期休暇(10日間)、 3月または4月の第2学 期中間休暇(7日間)
初等教育 修了率*1 (男/女)%	99/99	64/55	55/59	99/98
前期中等教育修 了率*2(男/女)%	94/96	55/45	34/43	96/92

出典: JICA横浜「各国教育制度調査」、文部科学省「世界の学校体系」

*1 初等教育修了率

初等教育の最終学年で想定される年齢よりも3~5歳年齢が高く、初等学校の最終学年を修了した子どもまたは若者の数。

*2 前期中等教育修了率

前期中等教育の最終学年で想定される年齢よりも3~5歳年齢が高く、前期中等教育の最終学年を修了した子どもまたは若者の数。
いずれの修了率についても 2013年~2022年の期間内に入手できた最も新しい年次のデータ。ミャンマーは、2023年6月~2024年3月。

<ユニセフ「世界子供白書2023」データ統計 教育指標 修了率(初等教育、前期中等教育)より>